

第71回 患者中心の医療を学ぶ会

がんと就労を中心に ～PPI患者・市民参画と、がん患者にとってより良いクスリとは何か～を考える

キャンサー・ソリューションズ株式会社
代表取締役

講師：桜井 なおみさん

日時：2019年 **7月18日(木)**

午後6時30分～

場所：ちよだプラットフォームスクエア

桜井なおみさんプロフィール

1967年生まれ。乳がん体験者。元設計事務所チーフデザイナー。37歳のときに乳がんが見つかり、治療のため約8カ月間休職。職場復帰後、治療と仕事の両立が困難となり、2年後に退職。自らの苦い体験から、がんでも働きやすい社会の実現をめざし、がん患者の就労支援事業 CSRプロジェクトを開始。家族は夫

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
(AMED)

「臨床研究等における患者・市民参画に関する
動向調査」委員会 委員



主催



NPO法人

患者中心の医療を共に考え

共に実践する協議会

Mission

CANCER SOLUTIONSは、がん体験者の就労・雇用を支援する日本で最初で唯一のコミュニケーション・カンパニーを目指します。

Vision

CANCER SOLUTIONSは、「がん」になっても、個人のアイデンティティである就労の機会を失う事がない思いやりのある社会、ヒューマン・リソース&エコロジーの実現を目指します。

【講演概要】 がん患者の就労(新規就労、治療継続)の大切さが注目をされていますが、その背景や効果にはどのようなものがあるのでしょうか？
 また、解決策としてどのような取り組みが必要なのでしょうか？
 経済毒性という新しい言葉まで生まれ、新規治療薬は毎年のように上市をしていますが、私たち患者の生活環境は改善しているのでしょうか？
 費用対効果評価が先行する欧州などでは、解決の糸口としてPPI(Patient and Public involvement)という考え方が生まれ、患者教育とあわせて盛んに議論されていますが、日本ではまだほとんど動いていないのが現状です。就労問題を通じ、これらとの関係性をひもとき、皆さんとこれからの創薬の考え方について意見交換をしたいと思います。

会場MAP



電車・タクシーでのアクセス

- 竹橋駅(東西線) 3b KKRホテル東京玄関前出口より徒歩2分
※地下通路一番奥の出口になります。お間違えが多くなっておりますので、お気をつけ下さい。
- 神保町駅(三田線・新宿線・半蔵門線) A9出口より徒歩7分
- 大手町駅(三田線・千代田線・半蔵門線・丸の内線) C2b出口より徒歩8分
- 小川町駅(新宿線・千代田線) B7出口より徒歩8分
- JR神田駅 西口出口・出世不動通りより徒歩12分

誰でも参加できます。参加費： 2000円 学生 1000円

交流会でネットワーキング(任意参加) 3000円

参加申込み先: info@jppac.or.jp 氏名 勤務先をご記入下さい

JPPaCは、「すべてのサービスは患者のために」を追求するNPOです。

会員募集中!